

作成日 2024年 2月 1日

環境経営レポート

2023年度
(2023年1月～2023年12月)



株式会社山口製作所

目 次

I	事業概要	1
II	経営における課題とチャンス	2
III	環境経営方針	3
IV	環境管理組織図	4
V	環境経営目標と実績	5
VI	2023年度環境活動実績	7
VII	2024年度環境活動計画	8
VIII	自らの活動に関する環境経営目標	9
IX	環境関連法規等の遵守状況	10
X	代表者による全体の評価と見直し	11

I. 事業概要

1. 事業所名及び代表者名

事業所名 株式会社 山口製作所
代表者 代表取締役 山口 聖三

2. 所在地

本社 静岡県沼津市足高 292-69
長泉事業所 静岡県駿東郡長泉町南一色 210

3. 環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者: 総務課長 弓削 信人

環境管理事務局: 総務課 蟹沢川 梨央

連絡先 TEL 055-925-2000
FAX 055-925-2005
E-mail: info@yamaguchi-mfg.co.jp

4. 事業内容

自動車用ねじ 45% 自動車用部品 40%
機械用ねじ 10% 蛍光灯用ピン 5%

5. 事業内容

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	7,007	8,260	9,685
従業員	人	86(76)	98(88)	95(85)
床面積	m ²	5,655	5,655	5,655

() 本社

6. 対象事業所

本社、長泉事業所

Ⅱ. 経営における課題とチャンス

	課題	チャンス
外部	省エネ製品の開発 原材料費、燃料費の上昇 顧客ニーズの多様化	省エネ製品の市場投入 独自製品の開発
内部	電気の大量使用 歩留まりが低い 廃棄物の大量発生 設備の老朽化	省エネによる競争力向上 歩留まりの向上 廃棄物の削減 社員の意識向上



課題とチャンスを明確化し、吟味し、検討した結果、『環境経営方針』、『環境経営目標』に以下のように反映させます。(詳細は各頁参照)

環境経営方針	省エネ、省資源
環境経営目標	電気使用量をはじめ、各種エネルギー使用量の目標は前年比99%に設定

株式会社山口製作所
代表取締役 山口聖三

Ⅲ. 環境経営方針

[環境経営理念]

株式会社山口製作所は、自然環境に優しい事業活動を推進し、環境負荷の少ない製品開発に努めると共に、高品質の製品を提供して社会に貢献し、次世代に残す地球環境の保全に配慮した企業を目指します。

[基本方針]

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に環境に配慮した継続的な活動を展開いたします。

[行動指針]

1. 環境負荷低減活動の取組みを行い、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めます。
 - 1) 省エネ(電気・ガス・重油・軽油・ガソリン・灯油)による二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 資源の利用効率向上と廃棄物排出量の削減
 - 3) 節水による総排水量の削減
 - 4) グリーン購入 前年度より購入品目の増加
 - 5) 製品のエコ化 金属から樹脂に変更
工数削減及び軽量化ならびにリサイクル化対応製品の開発
2. 環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制及びその他の規制を遵守致します。
3. 環境コミュニケーションの積極的实施
社外においては、環境活動レポートを公開し、利害関係者とのよりよいコミュニケーションを実践します。
社内においては、全従業員に、この環境方針及び必要事項を周知し、全社員参画による取組を展開します。

制定 2008年 11 月 28 日

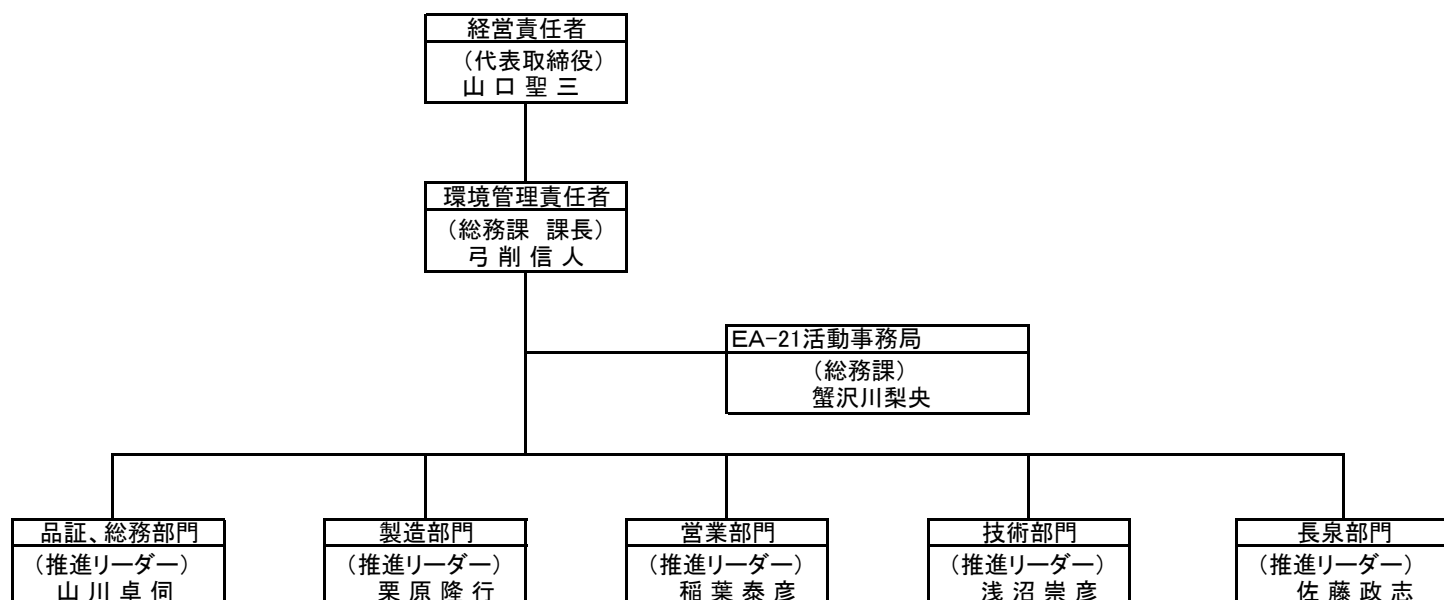
改定 2016年 07 月 01 日

改定 2019年 01 月 11 日

株式会社 山口 製作所

代表取締役 山口 聖三

IV. 環境管理組織図



<環境管理組織における機能>

区 分	役割・責任・権限
経営責任者	①環境経営全般に対するの責任と権限 ②環境方針の作成と社員への周知 ③全体の評価と見直し ④実施体制の構築
環境管理責任者	①環境経営全般に対するの責任と権限 ②環境方針の作成と社員への周知 ③全体の評価と見直し ④実施体制の構築
EA-21活動事務局	①各部門のデータのまとめ ②活動計画の実績管理 ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施 ④環境に対する苦情の受付 ⑤環境管理責任者補佐 ⑥法規制最新版管理
各部門	本社 長泉事業所 ①環境活動へ参加

V. 環境経営目標と実績

環境経営目標

2021年度の実績値の99%を翌年の目標とし、向こう4年間の目標を掲げる。

1、中期目標

※KDDI、丸紅新電力の二酸化炭素排出係数は0.500kg-CO2とする。

項 目	単位	2021年度 基準年実績	2022年度 目標(99%)	2023年度 目標(99%)	2024年度 目標(99%)	2025年度 目標(99%)
二酸化炭素排出量の削減 二酸化炭素排出量に影響を与える 各要素について	kg-CO2	1,309,856	1,296,757	1,283,790	1,270,952	1,258,242
①購入電力の削減	1000kWh	2,400	2,376	2,353	2,329	2,306
②ガスの削減	kg	415	411	407	403	399
③重油の削減	ℓ	23,100	22,869	22,640	22,414	22,190
④軽油の削減	ℓ	3,522	3,487	3,452	3,417	3,383
⑤ガソリンの削減	ℓ	9,285	9,192	9,101	9,010	8,919
⑥灯油の削減	ℓ	6,120	6,059	5,998	5,938	5,879
廃棄物の削減						
①一般廃棄物の削減	t	6.68	6.68	6.68	6.68	6.68
②産業廃棄物の削減	t	184.85	183.01	181.18	179.36	177.57
総排水量の削減 使用は、生活用水(トイレ・手洗い) 目標設定なし活動のみ 水漏れ・漏水点検	m ³	4,167	4,125	4,084	4,043	4002.80
環境配慮の製品(樹脂化)	件	1	1	1	1	1

※事務用品のグリーン購入についてはほぼ100%実施している為、目標を設定せず活動のみとする。

※環境配慮製品については目標の設定が難しい為、活動のみとしてきましたが、平成30年度からより明確な目標設定を掲げるため、年1個の樹脂化を目指す。

※一般廃棄物は金額でしか把握できず、重さは概算のため、収集回数と同じ(又はそれ以下)とする目標とする。表面上、重さで表示している。

2、【全体】2023年度目標・実績(1 月 ～ 12 月)

※ 結果 ◎達成 ×未達

項 目	単位	2021年度 基準年実績	2023年度 目標(99%*99%)	2023年度 期間実績	差異	結果 評価
二酸化炭素排出量の削減 二酸化炭素排出量に影響を与える 各要素について	kg-CO2	1,309,856	1,283,790	1,242,887	40,902	◎
原単位		187		128		
①購入電力の削減	1000kWh	2,400	2,353	2,321	32	◎
②ガスの削減	kg	415	407	428	-22	×
③重油の削減	ℓ	23,100	22,640	17,300	5,340	◎
④軽油の削減	ℓ	3,522	3,452	3,564	-112	×
⑤ガソリンの削減	ℓ	9,285	9,101	7,215	1,885	◎
⑥灯油の削減	ℓ	6,120	5,998	3,385	2,613	◎
廃棄物の削減						
①一般廃棄物の削減	t	6.68	6.68	6.68	0.00	◎
②産業廃棄物の削減	t	184.85	181.18	113.51	67.67	◎
総排水量の削減	m ³	4,167	4084.08	5,021	-937	×
環境配慮の製品(樹脂化)	件	1	1	0	-1	×

未達項目	原因	是正
ガスの削減	在宅ワークが減り、出勤者が増えたため、本社にてガス使用量が増加した。長泉では弁当価格高騰により弁当注文者が減少したためガス使用量も減少した。	出勤者が増えたため、更なるエネルギーの削減が非常に難しい状態です。しかし、その中でも削減に向けて案を出し、実行していきます。
軽油の削減	本社において生産量が増加したため配達も増加した。長泉は買い替え時期と重なりトラック燃費が良くなったため減少した。	生産量が増大している為、更なるエネルギーの削減が非常に難しい状態です。しかし、その中でも削減に向けて案を出し、実行していきます。
総排水量の削減	在宅ワークが減り、出勤者が増えたため、水道使用量も増加した。	出勤者が増大している為、更なるエネルギーの削減が非常に難しい状態です。しかし、その中でも削減に向けて案を出し、実行していきます。
環境配慮の製品(樹脂化)	当社は自動車部品メーカーであり、基本にご依頼のあった部品製品を生産することになりますが、既存製品について、環境に良い樹脂製の作成ができないか、定期的に模索していき、可能なことが判明しましたら、こちらから積極的にご提案することにより、環境配慮製品への切り替えを図っております。 樹脂化できる既存製品が尽きてしまった状態にあり23年の樹脂化は達成できませんでした。	新製品は元より、既存製品の樹脂化につきましても、可能な部分はないか、定期的に模索していきます。

3、【本社】2023年度目標・実績（ 1 月 ～ 12 月）

※ 結果 ◎達成 ×未達

項 目	単位	2021年度 基準年実績	2023年度 目標(99%*99%)	2023年度 期間実績	差異	結果 評価
二酸化炭素排出量の削減 二酸化炭素排出量に影響を与える 各要素について	kg-CO2	1,184,958	1,161,377	1,130,807	30,571	◎
①購入電力の削減	1000kWh	2,184	2,141	2,113	28	◎
②ガスの削減	kg	396	389	415	-27	×
③重油の削減	ℓ	23,100	22,640	17,300	5,340	◎
④軽油の削減	ℓ	343	336	596	-259	×
⑤ガソリンの削減	ℓ	5,541	5,431	6,967	-1,536	×
⑥灯油の削減	ℓ	6,120	5,998	3,385	2,613	◎
廃棄物の削減						
①一般廃棄物の削減	t	4.38	4.38	4.38	0.00	◎
②産業廃棄物の削減	t	34.94	34.25	24.23	10.02	◎
総排水量の削減	m ³	3,154	3,091	4,307	-1,216	×
環境配慮の製品（樹脂化）	件	1	1	0	-1	×

未達項目	原因	是正
ガスの削減	22年6月まで全休業日が月1～2日あったが、7月 からなくなった。また、23年は売り上げも増加して いることから、社員の総出勤時間数も増加してい ることが原因と考えられる。	出勤時間数が増えたため、更なるエネルギーの 削減が非常に難しい状態です。しかし、その中 でも削減に向けて案を出し、実行していきます。
軽油の削減	生産量が増加したため配達も増加した。	生産量が増大している為、更なるエネルギーの 削減が非常に難しい状態です。しかし、その中 でも削減に向けて案を出し、実行していきます。
ガソリンの削減	営業活動が活発化した。	営業活動を自粛することは出来ないため、更なる エネルギーの削減が非常に難しい状態です。し かし、その中でも削減に向けて案を出し、実行し ていきます。
総排水量の削減	社員の総出勤時間数の増加及び生産量の増加 により使用量が増加した。	出勤時間数が増大している為、更なるエネル ギーの削減が非常に難しい状態です。しかし、そ の中でも削減に向けて案を出し、実行してい きます。

4、【長泉】2023年度目標・実績（ 1 月 ～ 12 月）

※ 結果 ◎達成 ×未達

項 目	単位	2021年度 基準年実績	2023年度 目標(99%*99%)	2023年度 期間実績	差異	結果 評価
二酸化炭素排出量の削減 二酸化炭素排出量に影響を与える 各要素について	kg-CO2	124,898	122,412	112,081	10,332	◎
①購入電力の削減	1000kWh	216	212	208	4	◎
②ガスの削減	kg	19	18	13	5	◎
③軽油の削減	ℓ	3,179	3,116	2,968	148	◎
④ガソリンの削減	ℓ	3,744	3,670	249	3,421	◎
⑤灯油の削減	ℓ	0	0	0	0	◎
廃棄物の削減						
①一般廃棄物の削減	t	2.30	2.30	2.30	0.00	◎
②産業廃棄物の削減	t	149.91	146.93	89.29	57.64	◎
総排水量の削減	m ³	1,013	993	714	279	◎

未達項目	原因	是正
なし		

VI. 2023年度環境活動実績

環境経営目標	実施項目	責任者		実施計画									
				期間(2023年1月～12月)									
				本社					長泉				
				3月	6月	9月	12月	合計	3月	6月	9月	12月	合計
電力使用量の削減													
	①エアコン設定温度 (夏 28℃ 冬 20℃)	推進リーダー	計画	○		○	○		○		○	○	
			実績	○		○	○	◎	○		○	○	◎
	②社内蛍光灯のLED化	総務	計画			○	○					○	
		推進リーダー	実績			○	○	◎				○	◎
重油購入量の削減													
	①暖房機設定温度 (20℃)使用期間 11月～3月	製造	計画	○			○						
		推進リーダー	実績	○			○	◎					
	②補助ファンによる暖房効率の向上	製造	計画	○			○						
		推進リーダー	実績	○			○	◎					
ガソリン購入量の削減(軽油含む)													
	①エコドライブの推進 配送ルートの効率化	営業	計画	○	○	○	○		○	○	○	○	
		推進リーダー	実績	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	◎
	②ECO(グリーン購入) トラック車購入	総務	計画				○					○	
		推進リーダー	実績				○	◎				○	◎
灯油購入量の削減													
	①暖房機設定温度 (20℃)使用期間 11月～3月	製造	計画				○					○	
		推進リーダー	実績				○	◎				○	◎
	②同時洗浄等による効率化	製造	計画			○	○						
		推進リーダー	実績			○	○	◎					
一般廃棄物の削減													
	①ウエスのリサイクル	製造	計画	○	○	○	○		○	○	○	○	
		推進リーダー	実績	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	◎
	②ダンボール(リサイクル)推進	推進リーダー	計画	○	○	○	○		○	○	○	○	
			実績	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	◎
産業廃棄物の削減													
	①リサイクル・リデュースの推進 製品トレイの分別	推進リーダー	計画	○	○	○	○		○	○	○	○	
			実績	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	◎
総排水量の削減													
	①自動散水機(調整)	総務	計画	○		○							
		推進リーダー	実績	○		○		◎					
グリーン購入													
	①事務用品のグリーン購入を推進	総務	計画	○	○	○	○		○	○	○	○	
	②適正価格での購入検討	推進リーダー	実績	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	◎
環境配慮の製品の取り組み													
	①金属から樹脂への変更	営業・技術・製造	計画	○	○	○	○						
		推進リーダー	実績	○	○	○	○	◎					

VII. 2024年度環境活動計画

環境経営目標	実 施 項 目	責任者		実 施 計 画										
				期間(2024年1月～12月)										
				本社					長 泉					
				3月	6月	9月	12月	合 計	3月	6月	9月	12月	合 計	
電力使用量の削減														
	①エアコン設定温度 (夏 28℃ 冬 20℃)	推進リーダー	計画 実績	○	○	○	○		○	○	○	○		
	②検査台のLED化	技術 推進リーダー	計画 実績	○	○	○	○		○	○	○	○		
	③拡大鏡のLED化	技術 推進リーダー	計画 実績	○	○	○	○		○	○	○	○		
重油購入量の削減														
	①暖房機設定温度 (20℃)使用期間 11月～3月	製造 推進リーダー	計画 実績	○			○							
	②補助ファンによる暖房効率の向上	製造 推進リーダー	計画 実績	○			○							
ガソリン購入量の削減(軽油含む)														
	①エコドライブの推進 配送ルートの効率化	営業 推進リーダー	計画 実績	○	○	○	○		○	○	○	○		
	②ECO(グリーン購入) トラック車購入	総務 推進リーダー	計画 実績				○					○		
灯油購入量の削減														
	①暖房機設定温度 (20℃)使用期間 11月～3月	製造 推進リーダー	計画 実績	○			○		○			○		
	②同時洗浄等による効率化	製造 推進リーダー	計画 実績	○	○	○	○							
一般廃棄物の削減														
	①ウエスのリサイクル	製造 推進リーダー	計画 実績	○	○	○	○		○	○	○	○		
	②ダンボール(リサイクル)推進	推進リーダー	計画 実績	○	○	○	○		○	○	○	○		
産業廃棄物の削減														
	①リサイクル・リデュースの推進 製品トレーの分別	推進リーダー	計画 実績	○	○	○	○		○	○	○	○		
総排水量の削減														
	①自動散水機(調整)	総務 推進リーダー	計画 実績	○		○			○		○			
グリーン購入														
	①事務用品のグリーン購入を推進	総務 推進リーダー	計画 実績	○	○	○	○		○	○	○	○		
	②適正価格での購入検討													
環境配慮の製品の取り組み														
	①金属から樹脂への変更	営業・技術 推進リーダー	計画 実績	○	○	○	○							

VIII. 自らの活動に関する環境経営目標

『環境配慮の製品の取り組み』について、『環境経営目標と実績』に記載のとおり、今年度は、金属（鉄）から樹脂へ変更ができませんでした。

目標としては、引き続き、年1件の樹脂化を目指していきます。

【自らの活動に関する環境経営目標】 環境配慮製品（樹脂化）・・・1件/年

当社は自動車部品メーカーであり、基本にご依頼のあった部品製品を生産することになりますが、既存製品について、環境に良い樹脂製での作成ができないか、定期的に模索していき、可能なことが判明しましたら、こちらから積極的にご提案することにより、環境配慮製品への切り替えを図っていきたいと考えております。

IX. 環境関連法規等の遵守状況

評価日 2024年1月10日

法規等の名称	適用内容				備考(規制基準値、その他)	遵守状況
騒音規制法	・特定施設からの騒音に関する 規定基準の遵守及び施設の届出				特定施設の届出 合成樹脂射出成形機(5台) 液圧プレス(5台) 空気圧縮機(5台)	○
	時間の区分	昼 8時～18時	朝6時～8時	夜 22時～6時		
		間	夕18時～22時	間		
	騒音	55ホン	50ホン	45ホン		
振動規制法	・特定施設からの振動に関する 規定基準の遵守及び施設の届出				特定施設の届出 合成樹脂射出成形機(5台) 液圧プレス(5台) 圧縮機(5台)	○
	時間の区分	8時～20時	20時～8時			
	振動	65dB	55dB			
廃棄物処理法	《一般廃棄物》 ・一般廃棄物収集業者との契約				紙くず、木くず、その他	○
	《産業廃棄物》 ・産業廃棄物業者との契約 ・処理基準の遵守 ・保管基準の遵守 ・産業廃棄物の年間集計と知事報告				廃油、汚泥、廃プラ 60cm×60cm以上の表示 飛散、浸透防止、衛生管理	○
消防法	・指定可燃物の届出 消防法第9条の2				液化石油ガス 589.5kg 20型消火器の設置	○
ELV規制 Rohs指令	・規制対象 Pb(鉛)、Cd(カドミウム) Cr(6価クロム)、Hg(水銀)4物質 pbb、pbde				対象部品	○
労働安全衛生法	・労働環境の安全や衛生環境の維持 ・労働基準法の遵守				労働者の安全と健康を確保 快適な職場環境の形成を促進	○
自動車リサイクル法	・引き取り業者への引渡し				対象車輛 リサイクル料金の支払	○
グリーン購入法	・環境対応製品の選択 ・リサイクルしやすい製品の購入				対象製品	○
浄化槽法	・点検及び維持管理				点検 年2回	○
フロン排出抑制法	・点検及び維持管理				3か月に1回	○
	点検(2023年)					
	1月					
	4月					
7月				10月		
本社(28台)				○		
長泉(6台)				○		

1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。

2. 違反、訴訟等の指摘及び環境上の苦情は、過去9年間ありません。

X. 代表者による全体の評価と見直し

(運用期間 2023年1月～2023年12月)

作成 2024年2月1日

1.見直し及び変更指示

項 目	評 価
環境経営方針	継続指示
環境目標	設備、人員の増減は安定しています。 2023年は2022年に比べ、新型コロナウイルスの5類移行もあり、生産量・輸入量が増大しましたが、目標未達成の項目は減少しました。引き続き継続的改善を計っていきます。
環境活動計画	「5S活動」(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)を主軸に継続的改善活動の定着を行います。

2.個別評価

項 目	評 価
電力使用量の削減	2023年度目標達成 納品量の増加の中ではあるが、「5S活動」の習慣化を継続実施
ガス購入量の削減	2023年度目標未達 「5S活動」の習慣化を継続実施
重油購入量の削減	2023年度目標達成 「5S活動」の習慣化を継続実施
ガソリン購入量の削減	2023年度目標未達 エコドライブの推進 高年式営業車からのHV営業車エコカーへの計画的買換指示
軽油入量の削減	2023年度目標未達 エコドライブの推進 高年式トラックからのHVTトラックエコカーへの計画的買換指示
灯油購入量の削減	2023年度目標未達 「5S活動」の習慣化を継続実施
一般廃棄物の削減	2023年度目標未達 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進、トレーのリサイクルも実行
産業廃棄物の削減	2023年度目標未達 3Rの継続推進。リサイクル・リデュースの推進
総排水量の削減	2023年度目標未達 猛暑が続くと、主に本社でのスプリンクラーの使用により、排水量が増えてしまう。 これにより、電気使用量の削減に寄与している一面もある。 生活用水が主のため目標値を改善し続けるのは難しいかも知れない。

3.運用期間の総評

2023年の12ヶ月間の取組について、環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を含めた実施状況等について評価を行ないました。

2023年は2022年にも増して、前年比売上高が増加しています。そんな中で未達項目が減少しているのは、全社員の努力・意識改革の結果であり、環境経営方針は問題ないと思われます。

環境経営目標及び環境経営計画に取組を進めて行く上では、従業員の意識改革が何よりも重要なことから、社員教育を含めた社内コミュニケーションの充実を図ることが大切であると考えます。

実施体制においては、環境管理責任者を通し、各自の役割、責任及び権限を全従業員に再度周知し、エコアクション21の取組が、企業経営者のみならず個々の従業員にとっても有意義なものとなるよう、進めていきたいと考えます。

本年もグループ全体として受注が増加しています。日本法人としても納品の増大対応の為、エネルギー消費量が日々増大しているが、会社をあげてエコアクション21に取り組み、各削減事項の改善を行います。社員の環境保全への意識を向上させ、来年は達成項目が増えるよう一丸となって取り組んでいきます。

株式会社山口製作所

代表取締役 山口聖三